

2020 社会学類大学説明会

目次

・ はじめに	P2
・ カリキュラムについて	P4
・ 主専攻について	P6
・ 受験生活 Q & A	P10
・ 合格体験記	P15
・ 社学生の声	P27
・ 社学生の日常	P28
・ 資格について	P32
・ 入学準備虎の巻	P33
・ 編集後記	P34

はじめに

社会学類は例年多くの学生に人気で、全国から様々な学生が筑波大学の社会学類に入学します。やりたい分野が学べる、社会科学全般が学べるなど、人によって様々な魅力を感じているのかと思います。その中でも、社会学類には「幅広い自由」があることが魅力なのではないかと思います。自由に学ぶことができるように様々な工夫がなされているので、はじめにそれを紹介したいと思います。

専門性と学際性を合わせた自由な学び

社会学類では、4つの主専攻（社会学、法学、政治学、経済学）の中のどれか1つの主専攻を選択するのですが、ただその専攻の学問の知識を身につけていくものではありません。社会学類では1つの学問に閉じこもる事なく、4つの分野を幅広く学んでいきます。この学際性が社会学類のセールスポイントの1つです。1つの学問に捉われること、それは1つの見解に捉われてしまう危険があるということであり、ある経営学者、経済学者も「マネジメントにおいて大きな失敗が起きるのは、経営者が1つの見解を真面目にとらえすぎてしまったときである」、「イノベーションを起こすには、なるべく自分の専門分野から遠いところを学ぶことが重要である」というように述べています。現在の社会は様々な問題が複雑に絡み合っています。自由な視点を持ち、複数の角度から社会を見るためには、1つの専門性に捉われない、自由な学びが必要なのです。その自由な学びを実現する環境が筑波大学の社会学類にはあります。筑波大学は開学当初から学際性を重視してきましたが、社会学類にはその理念に則って、社会科学4分野を中心に、自由で活発な学びを実施しています。

グローバルな人材の育成

「グローバル」とは、「グローバル」＋「ローカル」の言葉ですが、グローバルという言葉なら聞いたことある、という人も多いでしょう。特に現在はグローバル化した時代の真っ只中です。筑波大学は1975年に開学しましたが、現在まで35年、グローバル化は驚くほどに進みました。多国籍企業が多く生まれ、海外で学ぶ、働くという将来設計は現在では珍しいものではありません。その一方で、「灯台下暗し」という言葉があるように、規模が大きくなればなるほど、近くにあるものが軽視されがちです。しかしその近くのあるもの、ローカルな問題というのが、グローバル化が進めば進むほど重要になるのです。以前、フランスの「3人の床屋」という話を聞いたことがあります。1人の床屋は「世界一になる」と言い、もう1人は「フランス一になる」、そしてもう1人は「この町一番の床屋になる」と言っていました。しかし何年か経ったとき、「この町一番に！」と言った床屋しか生き残っていなかったという話です。これはトヨタの社長が講演で使った話だそうです。トヨタといえば、世界各国に展開している、日本を代表する多国籍企業の1つです。そのトップも、ローカルな視点を大事にしているのです。グローバルな視点も、ローカルな視点も、どちらも大事です。社会学類では、他の学類にはない、グローバルな人材育成を目標に掲げており、伝統を守りつつも、新しく変化していくことができる、それが社会学類の特徴であると考えます。

少人数教育の重視

さらにもう1つ、社会学類では少人数教育を重視しています。1つの学部、学科に何百人もいるような大学とは異なり、授業やゼミ（演習）の多くが少人数で行われるため、学生と教員、あるいは学生間交流が親密に行われています。また、学内だけに収まらず、社会調査実習や工場・施設見学を行ったり、他大学とのゼミ交流や、学会報告あるいは学会賞への挑戦などにも取り組んだりしています。自由に、挑戦ができる学類を目指しています。

以上のような、自由で多様な社会学類を面白いなと感じ、さらなる自由、成長を目指してくれるみなさんとお会いできることをとても楽しみにしています。

カリキュラムについて

高校までとは異なり、大学では自分で時間割を組んで卒業に必要な単位を取得していきます。年間に何単位を取得するかは、ある程度個人の自由ですが、卒業するために必要な単位数は決められており、社会学類では最低で126単位が必要です。また、筑波大学では現在75分授業2学期制です。

授業は主専攻ごとに必修科目や選択科目、専門科目や専門基礎科目などに区分され、同じ授業でも主専攻によって科目区分が違ふこともあります。少し複雑でわかりにくいかもしれませんが、簡単にご紹介しましょう。

基礎科目

○フレッシュマン・セミナー

入学後に社会学類は4つのクラス（次年度は3つのクラス）に分けられ、1年次の春学期、週1回クラスごとに集まります。内容はクラスによって異なりますが、中央図書館の利用法、レポートの書き方を教わったり、クラスメイトとの交流を図ったりします。

○体育

社会学類では1・2年次で体育が必修で、週1回通年で授業があります。筑波大学では非常に多くの種目があり、また、良い施設を使うことができます。

○情報

情報リテラシーとデータサイエンスとに分かれており、コンピューターやデータ活用の基礎を学びます。1人1台パソコンを使ってワードやエクセル、パワーポイントなどを学びます。

○第一外国語

第一外国語は英語に限りませんが、英語を選択した場合、1年次に週2回通年で授業があります。入学式直後に行われるプレイスメントテストの結果によってクラス分けされ、クラス別に授業が行われます。

○第二外国語

1年次に週2回、2年次に週1回通年で第二外国語の授業があります。中国語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、朝鮮語の中から選択できます。授業によってはネイティブの先生に教わることもあります。

専門導入科目

専門導入科目は、各学類が開設する1年生向けの授業のことです。筑波大学の新生は、所属する学類を中心に、様々な学類が提供する専門導入科目をいくつか選択することにより、幅広く学問のエッセンスを学んだり他の分野に興味関心を持ったりすることができます。社会学類では、「社会学の最前線」「法学の最前線」「政治学の最前線」「経済学の最前線」という講義を提供しています。

専門科目・専門基礎科目

専門科目・専門基礎科目は主に社会学類で開設されている授業のことです。主専攻を社会・法・政治・経済のどれにするかは入学後に実際の授業を受けながら考えて決めることができます。しかし、各主専攻に進むためには1・2年次に履修しておかなければならない科目もあります。また、卒業のためには主専攻分野の専門科目を一定数以上履修しなければなりません。

* 専門科目・専門基礎科目の一例

専門基礎科目

- ・社会学基礎論…社会学的思考の成立と展開について紹介します。

- ・民事法概論…民事法に関する基礎知識を日常生活で体験する具体的事例を挙げながら紹介します。

- ・国際政治史…近代の国際政治秩序をめぐる歴史構造、変動過程を巨視的視点から考察します。

- ・現代経済史…近代経済成長と経済のグローバル化を経済の基礎知識の説明を加えながら説明します。

専門科目

- ・教育社会学…学校などの教育機関からファッション・化粧品にいたるまで、複眼的に社会教育を紐解きます。

- ・学校トラブルと法…学校で生じるトラブルに対する法の役割を説明します。

- ・国際政治学…近代国家成立以降の国際関係における理論を紹介します。

- ・日本経済論…日本経済の現状を、企業経営、情報化社会といった側面から分析します。

自由科目

筑波大学では他学類の授業を履修することができ、これらの科目は関連・自由科目として、卒業単位に認定されます。同じ学群の国際総合学類、他学群の比較文化学類や心理学類、社会工学類の授業など、多くの人が自分の興味のある授業を履修しています。

主専攻について

社会学類には社会学、法学、政治学、経済学の4つの専攻があります。各主専攻の先生にそれぞれの学問について説明してもらいました。

社会学 野上元先生

自分の経験でいうと、まずなによりも惹かれたのは、「社会学」という名前だったと思います。小さな人間関係からグローバルな国際社会まで、「社会」がさまざまにありうるのだとすれば、その名前に、何でもやれそうな魅力を感じました。まずは身の回りについて考え始めてみましょう。

例えば電車の中で、他人をじろじろとみるのは失礼にあたります。私たちは、人にあたかも無関心であるかのように振る舞わなければなりません。それが暗黙のルールになっています。無関心を「振る舞う」？——そうなのです。この場合、無関心であることそのものではなく、そう振る舞って「あなたに無関心ですよ」ということを表現すること、それを相手にそれとなく伝えることのほうが重要になっています。ゴッフマンという社会学者はこれを「儀礼的無関心」と名付けました。電車の中に限らず、お店や公衆トイレ、図書館などでも、そういった態度が求められます。もう一つ、ネット社会のコミュニケーションの話も考えてみましょう。LINEでは、相手の発言を読んで「既読」が相手に伝わっているのに何も返さないことで相手に不信感を与えてしまうことがあります。またFacebookやTwitterでは、親しい相手の記事に「いいね！」を押さないのは相手に失礼になってしまう危険性があります。それを恐れて「いいね！」を押してまわることが作業のようになることもあるでしょう。

さっきの例と反対に、他人に関する関心が義務のようにになっています。これもまた、関心がある／ないそのものよりも、それを相手に伝えること自体のほうが重要になっています。ゴッフマンに倣って言えば、「儀礼的関心」とでもいえばよいでしょうか。

関心がないことをさりげなく伝えることで失礼のないようにするための儀礼的無関心と、無関心なわけではないことをわかりやすく伝えて人間関係を維持しようとするための儀礼的関心。こうした儀礼的無関心や儀礼的な関心を駆使することで、私たちは、見知らぬ他人と無用のトラブルを避けたり、ちょっとした行き違いで親しい知人と陰悪になってしまうことを避けたりしています。

このように、ちょっと観察してみれば、人間の社会は、互いの関係をコントロールするテクニックに満ちています。こうしたことを考察するのがミクロな社会学（人間関係論）だとすれば、マクロな社会学では、時代による社会の構造の変化や別の社会との比較を試みたりします。（ここには書き切れませんね）

授業でもよく強調するのですが、社会学はとても自由な学問です。社会現象である限り、何をテーマとしてもよいし、方法的な厳密さも（それほど）求められていない。『社会学類への招待』の社会学主専攻のページにはこの春の卒業生たちの卒業論文タイトルの抜粋がありますが、それをみても、実に様々なテーマを学生たちが選び取って卒業していったかがわかるでしょう。先生がテーマを与えて「これやってください」と命令することは絶対にありません。

先生はあくまで伴走者です。そうした自由と裏表にあるのは、結局、「その卒論を通して何を考えたいのか」という、それぞれの書き手に課せられた問いです。それぞれは、卒論を書き進める中で、そうした問いに直面します。難儀なことですが、人びとの間で暮らしてゆくことについて考える力（≒生きてゆく上での基礎体力の一つ）がつくのではないかと思います。

法学 秋山肇先生

法というと、皆さんはどんなイメージを持ちますか？ 堅いイメージや、とっつきにくいイメージを持たれている方も多いかもしれません。しかし法は皆さんの生活と密接に関わっています。最近の事例では、新型コロナウイルス対策が挙げられます。緊急事態宣言が発出され、外出や営業の自粛が要請された地域があります。営業の自粛要請に伴い、多大な困難を強いられた方もいらっしゃると思います。外出・営業の自粛は、新型インフルエンザ等対策特別措置法という法律に基づいて要請されたものです。このように、法は皆さんの生活に大きな影響を及ぼしています。

法学は法の視点から「社会」を考えることを目的としていますが、法学以外の視点からも法の社会における役割について考えることで、法について深く理解することができます。社会学類の法学主専攻では、様々な視点から法について考えることができます。新型コロナウイルス対策として営業の自粛が要請された地域がありますが、法的には自粛によって減少した（もしくは少しも得られなかった）収入の補償は必要ないとの見解が説得的です。そして従来の法学では、これで議論が終わってしまいます。しかし、法の社会における役割を理解するためには、他にも導入すべき視点があります。「政治学」の視点を導入すれば、安倍首相による緊急事態宣言発出の背景が明らかになるかもしれません。「経済学」の視点を導入すれば、自粛要請による売り上げ減少の規模が明らかになるかもしれません。「社会学」の視点を導入すれば、自粛要請によって変化した社会心理や人々の行動が明らかになるかもしれません。法の社会に与える影響を明らかにするためには、こういった様々な視点を持つ必要があります。社会学類の法学主専攻で学ぶことで、法学だけでは見えないこと法の社会における役割について考えることができます。

法学主専攻には様々な視野を持った研究者（＝教員）がいます。弁護士、法解釈学の研究者だけでなく、ローマ法や法哲学・公共哲学、国際法や国際政治の視点を持つ研究者もいます。多様な研究者から広い視野で法学を学んでください。そして社会学類の様々な知見を基盤として社会を考えてみてください。素晴らしい仲間（＝学生、教職員）とともに、国内外の社会問題について多角的かつ批判的に議論し、日本の、そして世界の未来を創っていきませんか？

IMAGINE THE FUTURE together!

政治学 松岡完先生

○政治学とは

個人であれ集団であれ、人間はさまざまな欲望と縁が切れません。財産、地位、権力、権威、権利、利益、価値などを手に入れたい。何かをやりたい。あるいは逆に、したくない。自分の意志を押し通したい。他人には言うことを聞かせたい。

その手段が懇願、説得、利益誘導、買収、圧力、命令、強要、脅迫、暴力などです。相手側はそれを受け入れたり、拒んだり、条件をつけたり、取引に出たりします。その相互作用が政治です。あまりイメージがよくないかもしれませんが、人間社会には不可欠な営みです。その背景、動機、過程、影響、結果、意味などを分析するのが政治学です。その中で私は外交史を学んでいます。

○政治学を学んだきっかけ

もともと政治好きな子供で、選挙があると通学路のポスターに見入り、テレビの開票速報にかじりついていました。小学校の卒業論集、将来の夢は「内閣総理大臣」でした。馬鹿でしょ。でも昨今の××大臣やら△△議員やらの言動を見ると、こんな私でも案外務まるかもしれません。

背景には、故ジョン・F・ケネディ米大統領へのあこがれがありました。中学受験の暇つぶしに持参した本が『ケネディ名言集』。意味もよくわからないまま、彼の演説を暗誦していました。変なやつでしょ。でも政治学専攻の他の先生方はこれほど変じゃありませんのでご安心を。

政治家をめざす第一歩が、中学校の生徒会長。ケネディと同じ「ニュー・フロンティア」をスローガンに（ああ恥ずかしい）当選したものの、自分には指導力など金輪際ないと痛感しました。

でも政治や外交、とくにその歴史への関心はつのるばかり。大学のコース選択ではイギリス文学かアメリカ外交かで悩みましたが、それぞれの分野の先生に相談した後、国際関係論のコースに。

一時は政治家でなく外交官になることも考えましたが、結局、大学院に進みました。政治や外交の実践ではなく、観察をというわけです。将来は学校の先生か作家にと思っていた。高校の教員免許は、手続きを忘れて取り損ねましたが。

○現在の研究について

① ケネディ外交。中核は大学の卒論テーマだった、ヴェトナム政策です。いまはその集大成として、ケネディの伝記に取り組んでいます。なまじ思い入れがある分、四苦八苦しています。

② ヴェトナム戦争。アメリカにとって巨大な負の遺産です。冷戦、植民地独立運動、地域統合、開発独裁、同盟、戦争と世論など、国際政治の重要問題と密接な関わりを持つ事件でもあります。

③ アメリカを軸とした、20世紀とくに冷戦期の国際政治史。たとえば世界を動かす多種多様な力の1つ、ナショナリズムが噴出する舞台として、サッカー・ワールドカップに注目してきました。

○高校生へ一言

私たちが地球の重力を脱するのは容易ではありませんが、宇宙の果てに思いをはせることは簡単です。素潜りには限界がありますが、人間は深海の謎を解き明かすべく努力を重ねてきました。肉眼で見られない原子や分子の世界を理解することも、人の心の動きを探ることも、直接体験できない遠い過去の出来事を知ること、はるかな未来について考えをめぐらすことも、自分とはまったく違う立場の人を思いやることも十分可能です。すべての鍵となるのは「想像力」。どうか絶え間なくそれを養ってってください。

経済学 福住多一先生

人はひとりで生きることができません。無人島にたどりついた漂流者は、あっという間に生活が困窮します。私はこの原稿を、コーヒーを飲みながら、リビングでパソコンを使って、ひとりで書いています。リビングでひとりで活動しているわけですが、コーヒーを作った人、リビングを作った人、パソコンを作った人…、非常に多くの人々の活動が組み合わさって、私の活動が支えられています。私がどのようなリビングの内装を好み、どのようなコーヒーを好み、どのようなパソコンを好んで購入するか、こういったことは私の極めて個人的な情報ですが、今、快適にこの原稿を書く活動ができています。私たちの日常生活は、非常に多くの人々が、それぞれの多様な好みに従って、多くの財・サービスを粛々と利用しながら成立しています。多くの人々は自身の使えるお金の範囲、つまり予算の範囲で、自由に活動を行い、この社会は全体で、そこそこ、うまく回るわけです。偉い誰かが、私たちの日頃の暮らしを計画して命令しているわけではありません。個々人の自由な振る舞いのもとで人間相互の経済活動の結びつきや相互依存関係は、猛烈な複雑さを持つにも関わらず安定的に運行しています。これを支える数学的・科学的法則があるのではないのでしょうか？

大学入学当初、私はまずミクロ経済学の講義に感銘を受けました。経済活動は、上記のように一見複雑です。しかし複雑な現象を支えるメカニズムの本質を、鋭い洞察力に基づくエレガントな数学によって、鮮やかに解き明かしていく学問体系の美しさと知的重厚さに魅力を感じました。多様な財・サービスが我々市民に首尾よく効率的に配分されていく市場メカニズムを描く一般均衡理論を学んだとき、この人間社会の経済活動を貫く大統一理論を理解したように感じ、気分が高揚したことを覚えています。

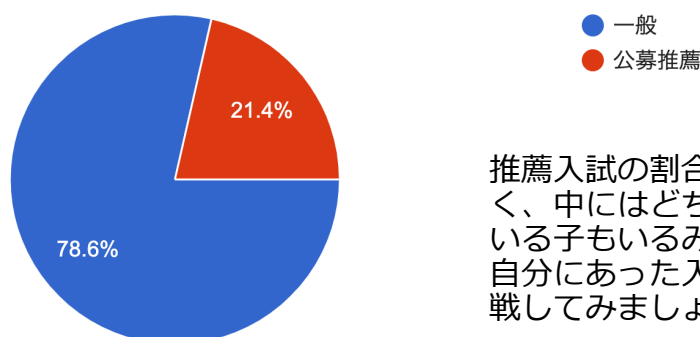
しかし勉強が進むにつれ、伝統的な市場メカニズムがうまく機能しづらい経済活動や、そもそも市場とは異なる組織内での資源配分メカニズムにも関心が出てきました。丁度そのころ1994年にナッシュ先生、ハルサニ先生、ゼルテン先生が、ゲーム理論で初めてノーベル経済学賞を受賞されました。私は人間の相互依存関係の本質を描くこの新しい数学に学問的将来性を感じました。ゲーム理論の授業はまだ殆ど開講されていない時代でしたが、3年生になった頃、背伸びをして図書館でゲーム理論の先端的な研究論文をコピーし、自力で読破しようと挑戦しました。今思えば、私の数学的知識も拙く、しっかり理解していたか甚だ怪しいものです。しかし、自分が、これだ！と心に決めた数学体系を徹底的に理解しようと思った情熱は、なかなか冷めませんでした。それから20年以上たちましたが、私は今もゲーム理論を研究し続けています。人間の相互依存関係を貫く数学法則を追いかけて、今日もリビングで大好きなコーヒーを飲みながら勉強をしています。コロナ禍で失われた人間相互の温かい結びつきが、一刻も早く回復することを願いながら。

受験生活Q&A

社会学類の1年生を対象に受験についてアンケートをとってみました。
受験生のみなさんは、是非これからの受験勉強の参考にしてみてください。

受験形態

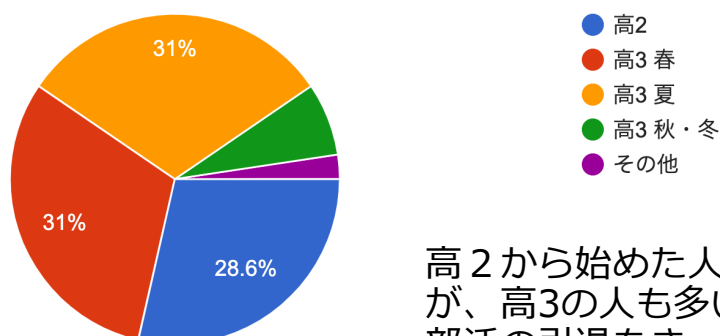
42 件の回答



推薦入試の割合も低くはなく、中にはどちらも受けている子もいるみたいです。
自分にあった入試形態で挑戦してみましょう！

受験生活を始めた時期

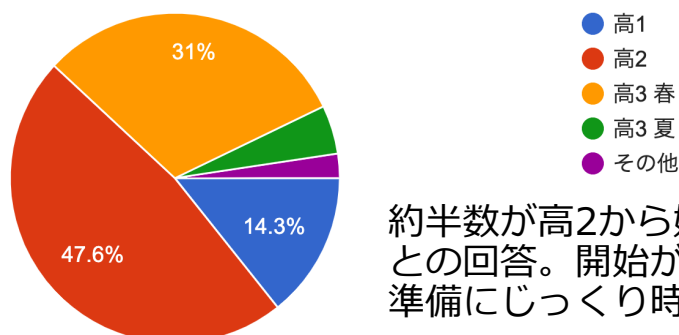
42 件の回答



高2から始めた人も3割いますが、高3の人も多いですね。
部活の引退をきっかけに切り替える人が多いです！

受験勉強を始めるのに理想的な時期

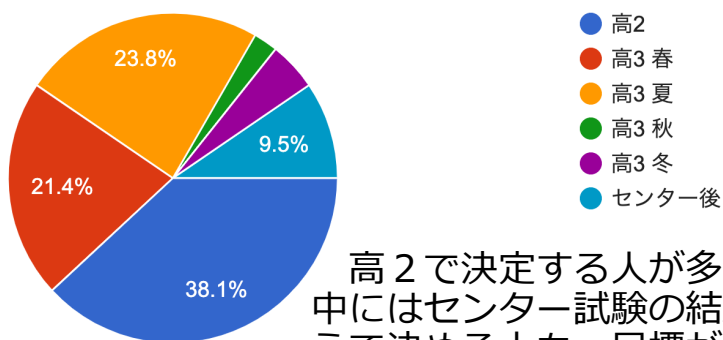
42 件の回答



約半数が高2から始めるのが理想との回答。開始が早いと、準備にじっくり時間を割けますね

志望を社会学類に決めた時期

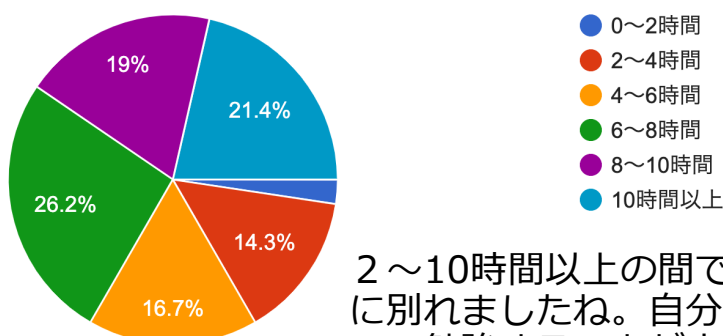
42 件の回答



高2で決定する人が多いですが、中にはセンター試験の結果を踏まえて決める人も。目標が決まるとやる気が出るので、早めの目標設定を！

受験期1日あたりの勉強時間

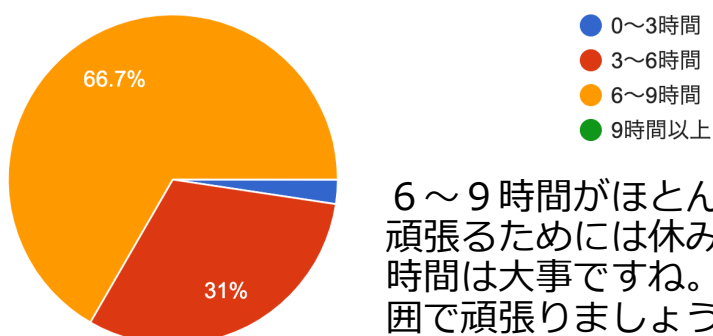
42 件の回答



2～10時間以上の間でほぼ綺麗に別れましたね。自分の調子を見つつ勉強することが大事ですが、多いに越したことはなさそうですね

受験期1日あたりの睡眠時間

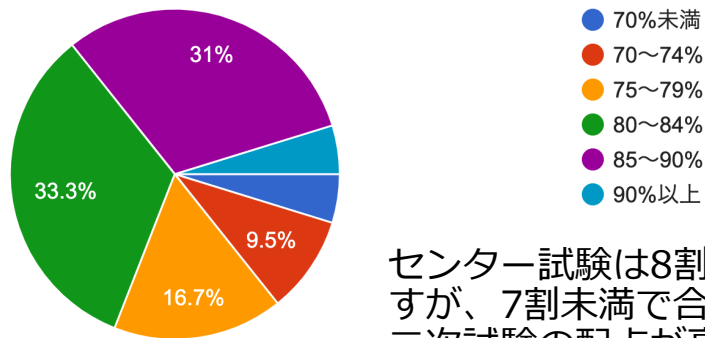
42 件の回答



6～9時間がほとんどですね。頑張るためには休みも必要、睡眠時間は大事ですね。無理のない範囲で頑張りましょう！

センター得点率

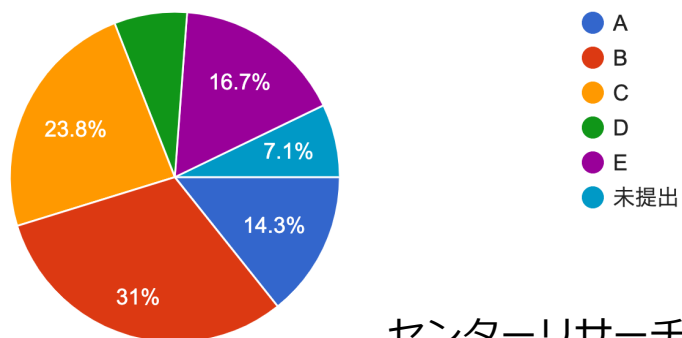
42 件の回答



センター試験は8割以上が多いですが、7割未満で合格した人も。二次試験の配点が高いので逆転のチャンスあります！

センターリサーチ判定

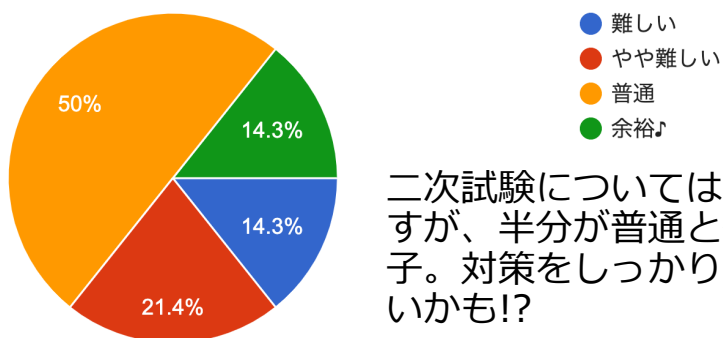
42 件の回答



センターリサーチで実はAとEがほぼ同じ割合！二次試験に自信がある人はセンターでうまくいかなくても出願してみるといいかもしれません！

二次試験の難易度

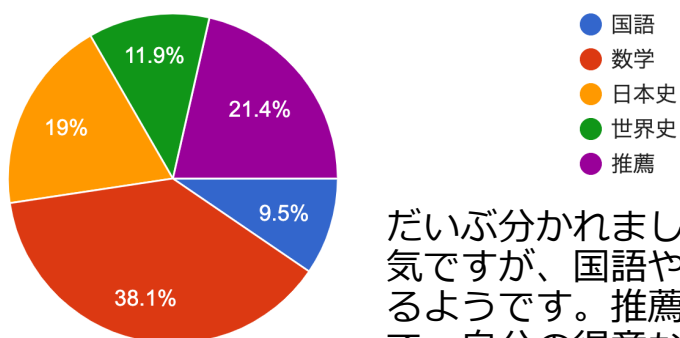
42 件の回答



二次試験については意見は様々ですが、半分が普通と答えている様子。対策をしっかりとすれば怖くないかも!?

二次試験の選択科目

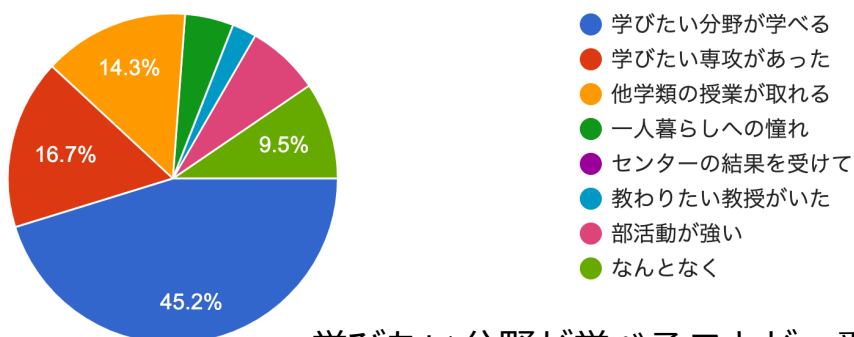
42 件の回答



だいぶ分かれましたね。数学が人気ですが、国語や歴史も一定数いるようです。推薦の割合も高いので、自分の得意なもので勝負できそうですね！

志望動機

42 件の回答



学びたい分野が学べることが一番人気！皆さんも何かやりたいことを勉強の合間に考えてみるといいですね！

受験期の憂さ晴らし

1 位：友達と話す

2 位：音楽を聴く

3 位：寝る

友達と話すという方が多かったです！個人で勉強していても疲れまっすし、その辛さがわかる受験生同志で励まし合えばやる気回復にもなりそうです。アンケートの中には一駅分音楽を聴きながら歩いて帰る、人と激しめの運動をする、縄跳びをするなど、体を動かすという意見もありました。息抜きってやはり大事ですね・・・。

合格した私立大学

私立大学を併願する人も多いかと思いますが、GMARCHを押さえている人も多く、関西から来る人は関関同立を押さえている人が多いです。ただ、中には押さえなしで合格した人や、そもそも併願せずに筑波一本で合格した人もいます。私立とは形式がガラッと変わるので、その対策ができるかどうかが大事ですね。

社学生から一言

がんばれ/諦めるな！/宅浪でも受かる/高得点勝負です！/大学生は、楽しいぞ〜/本番で着実に得点出来るのが理想的なので、演習とメンタルトレーニングを大切にしてください！/健康第一で頑張ってください！！(病気だけでなく怪我もしない様に)/入ってからいろいろ選べるので最高。/大学生まだ全然楽しくないよん！受験生頑張れ！/受験当日迷子になっても慌てるな！/数学は満点目指せる/たまには涙を流す日もある！その涙が君の成長の一步なのだ！/無理せず頑張ってください！/ひとつひとつを丁寧に、頑張ってください！/基礎を抜かりなくやってください！息抜きも大切です！/得点は2次の割合が高いですが、2次が苦手でもセンターの得点が良いければギリギリ、ほんとギリギリ受かります！/受験で後悔して欲しくない。だから今、努力しよう！志望校への愛と情熱は必ず実ります！/意志の強さが結果につながってきます！最後まで諦めずに頑張ってください！！/社会学は楽しいと思う（オンラインしか知らないけどね♪）/2次は数学にするべき！/諦めない気持ちが大事/漫画『風雲児たち』を強く薦める！/女でも学歴でも何でも良いからモチベがあるとダメ人間でも頑張れる！モチベがなくても頑張れる人は完璧。/頑張ったらいける/日本史受験したい方におすすぬ/二次試験は過去問をたくさんやった方がいい/来年は対面授業だといいな…/入学3ヶ月後でも友達出来てないから安心しな！！/充分な睡眠時間は必ず取るべき。/来年皆さんに会えることを楽しみにしています！/オヌヌメ/E判定しかとったことないけど受かりました がんばって/本気の失敗には価値がある。後悔しないように、全力で今できることを頑張ってください。/大変な時期ですが頑張ってください！/社会学は頑張れば普通に合格出来る！

などなど・・・書ききれませんでしたでしたが許す限り押し込みました。社会学一同応援しています！！

科目別勉強法【英語】

社会学類 1 年 重畠三奈

ここでは私の英語の勉強法を紹介していきます。私は過去問を中心に英語の対策を進めてきました。当然のことですが、ただ過去問を解き解答をして終わらすのではなく、しっかりと自己分析をすることを私は強くお勧めします。私は、過去問を解いた際に、自分ができなかった問題はどれか、そしてなぜその問題を間違えてしまったのかを1つ1つ分析していました。その中で私の弱点として、文章を流し読みしていて文章の主張等を掴むことができていない、単語の派生語や類義語を暗記できていないということが挙げられました。そこで私は単語の勉強に時間をかけるとともに、長文を読む際に、この文章の主張は何であるのかを意識して読むようにしました。

私が使用していた単語帳は「ターゲット1900」です。ターゲットを選んだ理由は、量が少ないため短期間で全ての単語を暗記することができることと、筑波大学の英語はそこまで難しい単語が出てこないのも、ターゲットでカバーできると思ったからです。ターゲットで勉強をする際に気をつけていたことは、1つの英単語の複数の意味や類義語、派生語を中心に覚えることです。難単語を覚えることも大切ですが、単語の類義語や派生語は問題にも出てくることが多々あるので覚えておくことをお勧めします。

さらに、筑波大学の英語では英作文があります。私は英語の文章を書くことは得意でしたが、論点を合わすことが苦手でした。そこで担当の英語の先生に毎日添削してもらって、論点がずれないように何度も練習をしました。何度も練習を積み重ねることで英作文を書く力は絶対に伸びます。また英作文を書く際は難しい単語や文法を使うよりも、自分の知っている単語や文法を自信を持って使うことが、高得点につながります。難しい日本語で意見を考えるのではなく、より簡単な日本語で文章を考えることで英語に訳しやすくなると思います。

最後に、受験勉強には正解はないと思います。大切なのはどの勉強方法が自分に1番あっているのかを考えながら勉強することだと思います。私の勉強方法はあくまでも1つの例であり、同様のことをしたからと言って合格が保証されるわけではありません。常に自己分析を行い、自分に必要な勉強は何であるのかを考えながら勉強してください。1人で自己分析をする自信のない人は先生方を頼ることをお勧めします。また模試の成績が上がらずに、担任の先生にバカにされることがあっても決して諦めないでください。あなたの道を決めるのはあなた自身です。そして、頑張っているあなたには絶対に応援やサポートしてくれる人がいます。合格している自分を想像して、一生に一度の受験を楽しんでください。今の頑張りは未来の自分の成長に必ずつながります。

社会学類 1 年 庄野珠央

筑波大学の英語は試験時間が比較的長く、基本的な問題がほとんどです。そのため、一番に大切にすべきことは精読の徹底だと思います。しかしその精読のためにも、基礎固めはとても重要になってきます。私が受験に向けて考え始めた時、最初はどの教科の何をすべきかわかりませんでした。とりあえず英単語をひたすら頭に叩き込もうと思いました。当時はまだ部活も忙しかったため、通学時間などのスキマ時間を見つけては英単語を覚えていました。最初のうち、部活動で当時はまだ忙しかったこともあり、英単語はスキマ時間にしかやらないと決めていました。そのため短い時間だったことで、とても集中して暗記に取り組めたように思います。また、学校であった週1の小テストは、1週間かけて完璧に頭にいれて臨むようにしていました。さらにしばらくたってからその内容を復習することもあります。とにかく忙しく、時間がなかったので、少ない勉強時間でもひとつひとつにしっかり向き合うようにしていました。ある程度単語を覚え始めると、熟語の不完全さや文法の曖昧さが浮き彫りになってきたので、そちらも注意していました。時間がとれなかったとしても、自分に足りない部分を意識しているだけで、少しは違うと思います。私も実際授業に熟語や文法を意識して取り組めたりしたからです。文法は、学校で配られた文法の参考書を繰り返し読み、覚え、模試やテストでつまづいたり不安なところすべてに付箋を貼るようにしていました。もちろんその付箋の部分も含めて完璧に覚えるようにしましたが、その部分を克服しても付箋ははがしませんでした。試験本番前の最終チェックで復習できる範囲には限りがあります。そんな時、自分が苦手としていた付箋のページを再確認して試験に臨むことで、実際の知識自体はもちろん、精神的にも支えになると思います。これは文法の参考書だけでなく、どの参考書でも割と共通だと感じています。それと並行して、長文読解に取り組んでいました。長文は「やっておきたい英語長文」というシリーズで演習していました。これを時間を見つけた際に行い、何度も音読しました。自分の場合、構文や読解法の参考書は苦手だったので使いませんでした。これらをやったら英語が大きく伸びたという友人もいたので、それぞれの苦手に応じて使うのも良いと思います。英作文は、典型的な型がある程度あるので、参考書でそれを勉強し、意識して書き、先生にみてもらうようにしていました。受験期の2次の科目との勉強時間の割合は、英語3～4：世界史6～7でしたが、これは人それぞれが、足りない部分を補ううちに自分の配分ができてくると思います。そして自分の場合、本番では試験時間の長さに油断し、試験本番ではゆっくりしすぎて時間が足りなくなってしまったので、長いと言えど、時間を計る演習も大切にしてください。以上はあくまでも私の方法ですが、受験勉強を意識し始め、最初にやることに困ったらまず英語から取り組むことはおすすめです。それでは、皆さんの合格をお祈りしています。

【国語】

社会学類 1 年 橋本万凜

まず、受験勉強に取り組む前にすべきことは、情報収集です。私は、筑波大学入学後に友達や先輩方の話を聞いて初めて「国語選択者が少数派である」ということを知りました。私は二次試験対策を始めた時、「数学は大の苦手だし、日本史や世界史は400字×4題で絶対無理だし…、消去法で国語かな！」と安易に国語を選びました。学校の先生方や塾の先生方に全く止められなかったのも、みんな国語選択だと思っていた。私は最終的に晴れて合格することができたからよいものの、もしかしたら他の科目の方が私にとって努力しやすかったのかもしれない。「自分はどの科目が得意なのか」、「周りの人はどんな考えで科目選択をしているのか」をしっかりと知りましょう。これも情報収集です。これから大学受験を迎えるそのあなた。まず、情報を集めましょう。綿密な情報収集は、あなたの受験を有利にします。

筑波大学の国語は、「評論」「小説」「古文」「漢文」です。国語オールスターズです。字数制限が全くないのも筑波大学の国語の特徴です。加えて120分という時間制限はかなり厳しいものです。実際に私が設定した時間配分は評論30分、小説30分、古文20分、漢文20分でした。ちなみに私は古文と漢文が得意だったのでそちらから解いていました。人によって時間配分・得意科目はそれぞれですから、過去問を解いていく中で自分が最も点数を取れる配分と順序を見つけてください。また、筑波大学の入試で求められる古文単語や漢文の知識は基本的なものです。暗記した後も定期的に単語帳や文法書を確認し続けましょう。また筑波大学の古文は和歌が有名で、修辞法をしっかりと暗記することが大切です。現代文の問われ方はたいていの場合文章に傍線が引かれ、「～とはどういうことか」もしくは「～はなぜか」です。簡単に言えば前者は言い換えの文章を探してそれらを簡潔に構成すること、後者は因果関係が認められる文章を探して簡潔に構成することです。また探す箇所は傍線部の前後であることが多いです。私は文章を組み立てるのにとても苦労しましたが、参考書（『入試現代文へのアクセス』など）で技術とセンスを磨きました。

「国語って何を勉強すればいいのかわからない」と感じる受験生は多いです。私もその一人でした。しかし国語には限りなく正しいといえる答えが存在します。文章をどう捉えるかは人によって違うかもしれませんが、主観を捨てて客観視すれば誰もが正解だと認める答えはあります。沢山問題を解いて経験を積んで、その答えを自分で作り上げられる力を身につけていってください。今年は新型コロナウイルスの影響で勉強する環境作りに苦労する方が多いとは思いますが、なんとか耐えて、この困難を乗り越えてください。筑波大学で待っています。

社会学類 1 年 山本莞治

当たり前のことですが、二次試験で国語を選択しようとしている人は国語が得意だと感じている人だと思います。私も高校時代のテストなどは国語に救われてきた類の人だったので、迷うことなく国語を選択しました。しかし、筑波大学の国語は今までやってきた国語とは一味違う難しさがあり、簡単にはいかないと思います。そのため、現時点で、勉強しなくて済みそうと考えて国語を選択しようとしている人には、その考えは改めて欲しいです

筑波大学の国語は評論、小説、古文、漢文と大問が四つに分かれていて、全ての領域に精通していなければなりません。個人的には小説と古文がとても難しく感じます。どちらも登場人物の心情が聞かれる形が多いのですが、小説では曖昧な表現や情景描写、古文では少ない分量から答えを推測する必要があり、高い読解力と柔軟な思考力が求められます。また、ほとんどの問題で字数指定がなく、どこまで充実した解答をすればいいのか分かりにくいといった難しさもあります。さらに、古文や漢文では、現在の常識とは大きくかけ離れた古典常識が必要となり、納得いかないような考え方も受け入れなくてははいけません。

勉強の仕方としては、古典の基礎的な知識が入っていることを前提として、何度も過去問を解き直すことをオススメします。これによって、時間配分に意識しながら特殊な試験傾向に慣れることができ、問われていることが何なのかという本質に近づけます。また、答え合わせの際には赤本の解答を鵜呑みにせず、信頼できる人に添削をしてもらい、その後に自分で、本文の答えを導いている部分と推測されるところに線や印をつけて、答えにたどり着く道筋を必ず確認してください。国語における「解法」がわかると思います。

はじめは想像しているよりうまくいかないと思います。回数を重ねていくにつれて、自分の中にはなかった着眼点や考え方、そして苦手としていた古典知識といったものが浮き彫りになってくるはずです。実際に私はセンター試験と二次試験の間に13年分ほどの過去問を解き、それによって自分が成長していく過程が実感でき、本試験でも高得点を取ることができました。国語はセンスが問われる分野ではありますが、そのセンスは努力で磨くことができると考えます。苦しい状況もあると思いますが、最後まで諦めずに自分の力を信じて頑張ってください。

【数学】

社会学類 1 年

深澤 南

高校 1, 2 年生の時は私にとって数学は得意だと自信をもって言える教科ではありませんでした。では、なぜ数学を選択したかというと、国語と歴史よりも安定して記述で点数が取れていて、試験時間に対して問題の量が少ないため、じっくり考えることができると思ったからです。さらに、筑波大学の社会学類の数学は数ⅡBまでの知識で解けるので、基礎がしっかりできていれば文系でも十分対応できます。受験科目を決めてからは苦手意識をなくすことから始めました。はじめの頃は記述に慣れていなかったため、解答のアプローチが分からず、全然書き進めることができませんでした。そういう時は、数学の先生や理系の友達に質問して、上手な解き方をする人の解答の筋道の立て方を教えてもらっていました。また、数学が得意な人は計算を簡単にする方法を駆使しながら解いているので、ただがむしゃらに解くタイプだった私はそういったことも参考にしていました。

数学の具体的な勉強方法としては、「完璧になるまで繰り返す」ということを意識して取り組みました。一度解いた問題やテストで解けなかった問題は答えを見て分かったつもりになっても意外と解けないことがあります。当たり前のことですが、受験において基礎が非常に大切です。特に問題集や入試問題によく出る典型的な問題は「こう聞かれたらこう返す」くらいになるまで繰り返した方がいいと思います。解き方が難しい問題は繰り返すことになかなか気が進まないかもしれませんが、ぜひやってみてください。私は解いた日にちと間違えた問題に印を付けて繰り返していました。私の数学の先生はいつも「3 回解け」と言っていたのですが、受験を終えてみるとこの言葉は本当だったと思います。

その他の小さな工夫については、苦手だった数列の専用ノートを作ったことです。苦手な分野の問題は短期集中で克服するのがいいと思います。また、解くための最初のアイデアや覚えておく便利な公式、自分がケアレスミスしやすい計算などをメモしたノートを作って模試や受験本番の前に見返しました。このノートはマーク式のテストでもかなり役に立ちました。

マーク式と記述では違うようにも思えますが、速さとひらめきを鍛えられるマーク式の数学も安定した点数が取れるとよいと思います。私は時間制限が厳しくなると焦ってしまうことがよくあり、センター試験では思ったほど点数が取れなくて悔しい思いをしました。演習不足が原因だと思います。バランスよく共通テストと 2 次試験に力を注いでください。

今年から共通テストが始まり、不安なこともあると思いますが、本番は今まで勉強したという自信が支えてくれます。事前に変更点をよく確認して、本番で見たことのない形式があったとしても焦らず冷静に対処すれば大丈夫です！

最後にもう 1 つだけ、ぜひ過去問は夏休みが終わるまでに 1 年分解いてみてください。自分のやるべきことが見えてきます。勉強方法は沢山ありますが、皆さんが自分に合ったスタイルを見つけて、本番で全力を出し切れることを祈っています！

社会学類 1 年 長谷部陸斗

まず、僕が筑波大学に受かることができたのは弊学の受験方式と私の勉強がマッチしていたからだと思います。センター試験の点数が全て合わせて450点なのにも関わらず、二次試験の数学の点数だけで400点の配点があります。しかも、数学は大問2つしか出題されません。つまり、数学の大問一つがセンター試験の約半分の点数になっているということです。先に言ってしまうと、僕はセンター試験は6割しか得点することが出来ませんでした。しかし、ここなら一発逆転のチャンスがあると思い、センター後は気持ちを切り替えて二次試験の対策に打ち込みました。その結果、本番の開示では数学で無事満点を取ることができました。

数学の中身に関しては、正直言って筑波大学は他の国立大学などに比べて易しめであると言えます。受験期に「本番で満点」と聞くと驚いてしまうかもしれませんが、先輩方や同期の話から聞いているとほとんどの数学選択者は満点でここに合格しています。120分という時間で2問解けばいいので、時間なども心配する必要はありません。青チャートに載っている問題などを一通りこなせば、よほどのことがない限り間違えないような問題になっていると思います。ただ、演習形式の練習も行いたかったので僕は東北大学などの問題で筑波大学と類似してる問題を学校の先生にピックアップしてもらい、それを解くという練習をしていました。ただ、今思えばそこまで力を入れなくても大丈夫だっただろうと感じます。

最後に、僕は弊学の判定はE判定しかとったことがないしセンターも失敗して私立も全て落ちましたが、高1の頃から筑波大学を第一志望していた結果二次試験の配点を知っていたので逆転合格をすることができました。受験は情報戦です。自分の実力や勉強プランとうまくマッチする大学・学部（学類）を探して自信をつけておくのがいいと思います。大変な時期ですが、受験生の皆さんに幸があることを祈っています。

【日本史】

社会学類 1 年 能地康太

皆さんもご存知かとは思いますが、社会学類の二次試験の科目は外国語が必須で、残り1教科を国語・歴史・数学の中から選ぶこととなっています。最初に申し上げておくと、私の知っている範囲でも数学満点取得者は多く、数学に自信がある方は数学での受験検討をお勧めします。では、ここからは日本史の説明をします。まず勉強方法についてですが、とにかく教科書の読み込みです。と言っても単に読むだけでは意味がありません。筑波大学の日本史はある分野についての時代ごとの変化や特定の時代における流れなどといったことがよく問われます。そのため、長いスパンでの変化などを正確に把握していなくてはならないため、あるページを読んだらそのページに書いてあることに関連する他ページの内容、そしてその他ページへの歴史の流れや変化などが頭に出てくることが求められます。ですから、教科書を読むのは黙読ではなく声に出して読むのが良いと思います。自分で多いのかわかりませんが、私は教科書の音読を7周しました。そして忘れてほしくないことは、音読の際、昔の法律などのような文章の史料もしっかりと読んでください。史料で使われている言葉が出される場合も多々あります。

次に、教科書以外に使う教材について知りたい方も多いと思いますが、何かしら一問一答形式の問題集を持っておくことをお勧めします。また、駿台の、「日本史の論点」もお勧めです。これも同じく音読して教科書などとの関連をすらすら言えるようにしましょう。こういったことをしながら同時に論述対策も進めてください。以前の問題と類似した問題も多いため、過去問を直近10年分くらい解いてみてください。「筑波大学 日本史」や、「筑波大 日本史研究」で検索すれば、1989年の過去問から解けるサイトが出てくるかと思います。最初の方は難しいとは思いますが、教科書の音読でしっかりと流れをつかめるようになって来れば、単なる語句説明に陥らず、流れや変化を記述した歴史論述になるかと思います。そして、先生などに添削を必ずしてもらってください。自分だけで見るのはほぼ不可能です。

そして、私はしたことはないのですが、ノートに書いて覚えるという方も多いかと思います。その際に気を付けてほしいことは、筑波大学の対策の場合、時代ごとにまとめる、ただただ時代を追って書くという方法は避けてください。それならば、教科書と変わりありません。そうではなく、例えば、日朝関係史全てを時代順にまとめる、思想史を時代順にまとめるなどという風に分野別にまとめるようにしてください。そうすれば、頻出である特定の分野の変化や流れを覚えられるし、見やすくなるかと思います。

最後に、上記の文章はあくまで私見ですので、皆さんそれぞれが良いと考えた方法で勉強してみてください。この文章があなたの助けになればとても嬉しいです。来年から社学の一員としてお会いできることを心より楽しみにしております。

私の高校三年生は6月下旬まで部活に打ち込み、9月までは文化祭の劇のキャストをやるなど大忙しで、放課後にやるのが何もないなと気が付いたのは、文化祭が終わった9月中旬でした。ただ、そんな忙しい生活の中でも合間を見つけては受験勉強、日本史の勉強もしていました。その時のことを思い出しながら書くので、良ければ参考にしてみてください。

まず、忙しい高校三年生の前半は、とにかく学校（行っている人は塾）の授業を聞いて、定期試験を指標にしてきちんと覚えていくことです。高3になると（学校の勉強）≪（受験勉強）となりがちですが、日本史に関しては違うと思っています。覚えることがたくさんあるので、今回の範囲は今度覚えようというのは苦手範囲を増やすだけなのでやめたほうがいいです。受験勉強のリズムがつかめていない一学期は学校の進度や授業を頼り、定期試験を有効活用することをおススメします。では、いつまでに通史を終えたの？ということですが、日本史は繰り返していくことで定着していくので夏休みにできれば一周…と思いますが、できなくても焦らず、11月のこのマーク模試までには完璧にする！といった自分の目標を決め、逆算して計画を組みなおしてください。さて、日本史の中には「文化史」なるものがあり、筑波大学の記述でも400字まるごと文化史の大門が出されることもあります。とはいえ、現役生は特に文化史まで手が回らないことも多いと思います。そんな時に私は一問一答を利用していました。周りの友達ではボロボロになるまでやっている人もいましたが、自分はとにかく時間がなかったし、量が多すぎてやる気が出なかったのも、文化史だけ使っていましたが、後から振り返れば効率が良い勉強法だったと思います。他のおすすめの勉強法としては、「言葉で説明する、他人に話す」ことです。論述は、その事象がおこった背景、目的、経過、結果などを流れで論述しますが、まず書くのは物理的に時間がかかるし、声を出すことで格段に暗記力も上がります。また覚えたことを何も知らない人に聞いてもらうことで説明能力も上がるので、この勉強法は本当におすすめです。また、筑波大学の400字論述に向けた勉強法としては、ノートを中心に事件の名前や文化の名前を書き、関連事項や背景を蜘蛛の巣上に書いていくことです。本番の論述で焦るのは、書くことがない!と思った時なので、私は苦手な範囲でこれを行い、本番で何が来ても400字が書けるようにしていました。

いろいろ書きましたが、受験期はいろんな人からいろんなことを言われ、どれが正しいのか!?と混乱してしまうことが多々あります。私が書いた勉強法はあくまで一例ですので、自分なりの勉強法をみつけて頑張ってください!

【世界史】

社会学類 1 年 庄野珠央

まず伝えたいことは、世界史を、400字×4問の計1600字という文字数だけで受験教科からはずすのはもったいないということです。もちろん少なくはない文字数ですが、世界史が得意な人ならば文字数が多少不安でも勉強次第だと個人的に思います。そこで微力ではありますが、私の体験をお伝えしたいです。

まず最初に私が取り組んだことは、基本的な事項の暗記でした。歴史は流れが重要といえますし、記述ともなればなおさらです。しかし私は、覚えていない人名や事件の名前があると流れが頭に入りにくいと感じていました。そこでまず教科書の太字を重点的に覚え、聞きなじみがある状態にしました。そうしたうえで教科書の文をしっかりと読み、人物と事件の関連や全体の流れを理解し、頭に入れていくようにしていました。区切った範囲の単語の暗記→流れの理解→暗記といった順番です。記述そのものの練習は秋から行う予定だったので、受験に向けて世界史を始めてから夏休みが終わるまでは常に教科書を読んでいました。この時の自分はまだ、ヨコのつながりに弱かった記憶がありますが、その分タテをしっかりと勉強しました。秋になってまず、筑波大学の世界史の問題を1年分解いてみました。文字数は知っていたものの、どのような問題の傾向があるのかをまず知ってから記述の練習に取り組んだ方が良くと思ったからです。この時に知識があまりにも足りなさすぎるとあまり意味のないものになってしまうと思い、解いてみるのはセンター(当時)試験5～7割目安と何となく考えていました。私の場合秋には記述の練習を始めたのですが、この時注意したのが、教科書を繰り返し読むことを絶えず行うという事です。私は、記述練習はあくまで書き方を学ぶというつもりでやっていたので、知識を忘れてしまっただけでは元も子もないと思い、このことは欠かさず行うようにしていました。記述ですが、最初は全く書けません。私の場合ここでようやく、自分がヨコのつながりにとても弱いという事に気づきました。さらに年代もあやふやな部分が多くありました。参考書を増やすことは抵抗があったのですが、ヨコを教科書と自力で勉強するのは自分には難しかったため、ヨコのつながりに着目した参考書を買いました(この文の最後に書いてあります)。教科書を何度も繰り返し読みつつ、年号もしっかり覚えるという意識をプラスし、さらにヨコのつながりの参考書を、資料集の最初のページにあった、「〇〇世紀の世界地図」というページと照らし合わせながら頭に入れていきました。筑波大学の世界史は、紀元前から21世紀まで、本当に広い範囲に及びます。絶対に漏れのないよう、隅から隅まで頭に叩き込む気持ちで取り組んでいました。記述に慣れる練習も少しずつ文字数を上げていました。記述練習では、時間を計ることを絶対に行った方が良くと思います。自分がどれくらいの内容を考えて書くのにどのくらいかかるのか、知っておくべきです。受験を終えて私は、文字数こそ不安に感じるものの、内容が教科書を大幅に上回ることはないと感じています。実際受けてもやはり、“理解”を問われていると強く感じたので、教科書に載っていないような難しい単語を覚えようとするのではなく、基本的なことの、より完璧に近い理解を目指すことが大切だと思います。私は初めて解いたとき絶望的な気分になりましたが、暗記に加えて内容理解に重きを置き、文字数と時間への慣れを重視したところ何とか乗り越えました。

これはあくまでも私はこのやり方で臨んだ、というだけです。自分に合った方法が一番なのですが、もし迷った時、少しでも参考にさせていただけたら幸いです。皆さんの合格をお祈りしています。

<使用した教材>

- ・山川 詳説世界史B (教科書)
- ・山川 世界史用語集
- ・「ヨコから見る世界史」(参考書)

(一問一答は苦手だったので、使いませんでした)

社会学類 1 年

初めまして。社会学類 1 年の者です。今年はセンター試験から共通テストへ変わる一年目である上に、コロナウイルス感染拡大によって授業日数も減るなど、非常にイレギュラーな年になってしまいました。受験生の皆さんは計り知れないほどの不安とストレスを抱え、日々葛藤しているのだと思います。しかし、ここで腐らず踏ん張れるかどうかは分かれ目だと思います。皆さんのことを心から応援しています！頑張れ！さて、本題に入ります。まず私が最も重要だと思うのは、教科書を覚えるくらい読み込むことです。筑波の世界史は、奇問・難問は稀にしか出題されずオーソドックスな問題が多いのが特徴です。よって、教科書の内容が頭に入っていればほとんどの問題は解けます。また、論述を書く際、ポイントとなる事象の繋がりが分からない、大体理解はできているけど論述用の言葉に変換できない、といった悩みに直面することが多いです。そのため、一問一答やオリジナルのノートよりも、教科書を勉強の基本に据えて「教科書の文章がなんとなく頭に入っている」状態を目指してみてください。教科書を何周もしていた友人は、模範解答のような論述を書いていました！

また、筑波の世界史は似た問題が複数回出題されることもあるため、過去問は必ず 10 年分以上目を通した方が良いでしょう。（駿台文庫の『45 か条の論題』が筑波の問題との相性が良いため個人的なお勧めです！）これを聞くと過去問をひたすら解いて答えを暗記するという勉強方法になりがちです。しかし、本番に解いたことの無い問題が出ると何も書けなくなってしまうので、これだけに腐心してしまうのはお勧めしません。焦るほど陥りやすい方法ですが、やはり教科書を読んで苦手な範囲を無くしていく方が堅実かと思います。

最後に、私が世界史の二次対策をしていて感じたポイントを簡潔に述べていきます。誰しにも有効な対策ではないため、参考程度にお読みください。まず、資料集は息抜きがてらよく見ておくことをお勧めします。文字よりも画像の方が記憶に定着しやすいため、画像の情報が糸口となって思い出せることがあります。次に、地理未履修の方は地名の勉強を忘れないようにしてください。高原や河川で地域指定された問題も出題されます。最後に年号の暗記についてです。皆さんしたくないかとは思いますが、やはり年号は暗記して損はないと思います。年号を確信できる事象を基点として歴史の流れを組み立てることができるので、特に歴史の流れを覚えるのが苦手な人には有効だと思います。私は語呂で覚えましたが、自分と相性が良い方法を探してみてください！伝えたいことをとにかく詰め込んでしまったため煩雑な内容になってしまいましたが、少しでも受験生の皆様のお力添えになればと思います。皆さんのご健闘をお祈りしております。

【推薦】

社会学類 1 年 小菊日怜媛

私は昨年8月、社会学類のオープンキャンパスに参加して、推薦での受験を決めました。まずは、その決意から受験までの流れをお話しします。上の通り8月上旬には受験を決めるのですが、夏休み中は8月末にある校内学力テストのために、ひたすらそれまでの復習に取り組んでいました。そして学力テストで成果を出し切ったその日から、出願のための準備を始めました。

まずは校内推薦に出す志望理由書を書き、そこでなぜ筑波大学の社会学類を目指すのか、入って何がしたいのか、十分に時間をかけて構想を練りました。

そして10月に入ってから、高校での「活動報告書」を作り始めました。私の通っていた高校は文部科学省によるSGHとWWLの指定校で総合的な学習の時間が非常に充実していたので、そこでやった地域課題研究とグローバル課題研究(模擬国連、台湾現地学習)、さらには所属していた新聞部で行った外務省・フランス大使館での取材内容をまとめました。この作業には丸々1か月を費やすことになりました。

10月の半ばからは並行して小論文の練習も始めました。教員歴が一番長い社会科の先生にお願いをして、週一回のペースで、赤本と代々木ゼミナール出版の「新小論文ノート」の添削をしてもらいました。

そして11月の頭に「活動報告書」を書き上げ出願を終えてから、ようやく面接練習を始めました。総勢10名の先生方をお願いをして、あえての意地悪な質問や、様々な方向からの突っ込みに慣れる練習をしました。11月は小論文と面接の練習で終わっていったという感じです。

以上が受験期の流れです。皆さん一番気になるころかもしれませんが、推薦の勉強と一般の勉強の両立というのは私は全くしていませんでした。というよりもする余裕がありませんでした。8月までは一般の勉強だけを、9月からは推薦の勉強だけをやっていたという感じです。もちろん、周りが一般受験に向けて演習を始めた中で一人、レポート作りや作文、お喋りの練習をすることに戸惑いはありました。しかし、「推薦がダメだったら潔く浪人して東大を目指しなさい」という担任からの助言があったおかげで、合否はともかく、受けたことを後悔しない程度までは精一杯やろうと決意することができました。

以上から、私が皆さんにお伝えしたいことは、一般の勉強が疎かになるからという理由でせつかくのチャンスを捨てないで欲しいということです。特に高校で勉強以外の活動に取り組んだ人はそうです。ボランティアでも探求学習でも留学でも部活動でも、それは面接で大きなアピールポイントにすることができます。小論文は博打の部分がありますが、面接はいくらでも自分の思う方に話を持っていくことができるのです。もし「推薦がダメだったら浪人して(入試の難易度が)もっと高いところに行こう」という気持ちで挑み、仮に不合格だったとしても、これまで自分が何をしてきたか、これから何をしたいか、高校生のうちにこれほど考えられる機会はなかなかありません。貴重な体験にはなると思います。是非ぜひ、挑戦してみてください！来春皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

社会学類1年 中村 優希

ここでは、私の推薦対策について書いていきます。あくまで参考として読んでいただくと幸いです。

●3年の夏休み

赤本を見て国内の政治・経済に関する問題が多いと感じ、そのようなものを題材にした本を読みました。私の場合、奇跡的にこのとき読んだ本が本番で出題されました。また、ニュースや社会問題に関する記事を読むようにしました。NHKのニュース・防災アプリの就活応援コーナーの記事がおすすめです。知っておくべきニュースがまとまっていますし、興味深いトピックも多く面白いです。

●9月下旬

本格的に小論文の過去問を解くようになりました。

小論文は、構成メモを作ること、序論・本論・結論で書き進めることをすれば大失敗することはないと思います。文才を問われているわけではないので、練習の中で「このパターンの問題にはこうやって書き始めよう」と、自分なりのテンプレを作ってしまうでしょう。

私は構成メモ・序論・本論・結論にそれぞれどれほど時間を割いているのかチェックしながら書いていました。経験を積む中で自分のペース配分を決め、それを意識して書くと良いと思います。

添削をしていただいていた校長先生には、「解答のポイント・何が問われているのか」・「解答構成の幹（何を記述すべきか）」・「自分の解答で不足している内容」を教えていただきました。それを基に校長先生と話し合い、どのような根拠や策を入れればよりわかりやすく説得力のある文章になるのか考えたり、その後自分で書き直してみたりしました。

●10月下旬

週に1～2回程度先生にお願いし、面接練習をしていただきました。様々な先生にお願いし、異なる視点からの質問を受けましょう。質問に対する回答として用意しておいた文章を「暗唱する」のではなく自分の言葉で「伝える」ようになると良いと思います。

また、過去・現在・未来の繋がりを意識することが大切だと思います。過去にどのようなことがあって（きっかけ）、そのために今何をして（または何に興味があって）、これから何がしたいか（大学やその後の予定）を考えておきましょう。

考えながら話すアイコンタクトが出来ない人には、鏡を見ながら典型的な質問に対して答えるという練習がおすすめです。

●まとめ

- ・本やニュースで情報を集める
- ・【小論文】：構成を意識して書く・何が問われているのかを意識して書く→見直しをする
- ・【面接】：自分の言葉で伝える・過去、現在、未来の一貫性を意識する

この点に注意すれば大丈夫だと思います。一日の中で推薦対策に費やす時間を決め、一般試験との両立をしましょう。推薦には特別な何かは必要ないと私は思います。ぜひチャンスとして推薦受験を考えてみてください。応援しています。

社学生の声

社会学類生、通称「社学生」。

一口に社会学類といっても、実に様々な人がおり、皆それぞれの夢や目標を持ち、日々の生活を楽しんでいます。ここでは実際の社会学類生（社学生）にインタビューをしてみました。この記事だけで社会学類を語りつくすことはできませんが、イメージをつかむ参考にしていただければと思います。

Oさん(3年・社会学主専攻)

●将来の目標は何ですか？

まだ具体的には決まっていますが、地方公共団体に就職して「地域を動かす」仕事をしてみたいと思っています。

●そう思ったきっかけは？

中学校のころに読んだ「県庁おもてなし課」という本がずっとお気に入りです。「自分もこんな仕事がしたい！」と漠然と思っていました。大学のゼミで地方のゲストハウス経営者と交流したり、学外の活動で県内の議員さんと話をしたりして、地域を形作るという仕事には公務員という選択肢が一番希望に合っていると思ったからです。

●いま取り組んでいることは？

ドットジェイピーという学生団体において、議員やNPOのもとで長期インターンをする学生の支援を行っています。大学の中では絶対に関われないような地域の人々とながりを深めることで、自分の世界が広がっていくのがとても面白いです。また、私自身も市内のNPOスタッフとして、主に地域のニュースを担当にライター活動を行っています。

●社会学類の魅力は？

社会学・政治学・法学・経済学といった社会科学の幅広い分野を包括的に学びながら、自分の専門分野を決めることができる点だと思います。普通の大学だと入学当初から専門分野の学部に入ることが多いので、「いろんな分野の学びに触れながら自分の興味を掘り下げたい」と思う方には特におすすめです。また、新歓や宿舍祭、免許合宿などの行事での団結力が強く、横のつながりができるのも魅力の1つだと思います。

Wさん(4年・経済学主専攻)

●将来の目標は何ですか？

広告会社などに勤めてイベントを開催していき、社会にある魅力あるものを紹介していきたいです。

●そう思ったきっかけは？

経済学を勉強していく中で、経済発展には「奢侈品」、つまり贅沢品が果たす役割が大きいという学説がいくつかあることに気づき、娯楽を通じて日本社会を経済、心理的な面から豊かにしたいと思ったことがきっかけです。

●いま取り組んでいることは？

自分は学園祭実行委員に所属して委員会規模の企画を統括する担当をしていました。ここでの経験が、将来イベントを企画する仕事に就きたいと思った影響が大きいと思います。また文化と経済の関係などを勉強しています。

●社会学類の魅力は？

自分は初め、社会の問題を解決したいと思い、社会学類を志望しました。ここでは社会にはどのような問題があって、それに対して社会学、法学、政治学、経済学と4つの視点からどれを使って解決していくのか、自分の興味を合わせて選択できます。みんなそれぞれが異なる社会問題を考えていてお互いの話を聞くと新しい考えも出てくるので、ここが1番の魅力かなと思います。

社学生の日常

大学生になると高校までと違い一気に自由な時間が増えます。その時間を使って勉学に勤しむもよし、バイトで稼ぐもよし、サークル活動を頑張るもよし、時間の使い方はそれぞれです。ここでその全てを語り尽くすことは到底できませんが、少しでもみなさんが大学生活をイメージできる手助けになるよう、サークルやキャンパスライフについて紹介していきます。

サークルについて

大学をより充実したものにする手段は色々ありますが、その代表例がサークル活動です。皆さんの中にも、大学に入ったらサークルに入ろうと考えている方が多いのではないのでしょうか？友達を作りたい、大学で何か新しいことを始めたい、インカレを目指したい、そんな人はサークルに入ってみましょう。きっとあなたの自由な時間を充実したものにしてくれます。

現在、筑波大学には公認、非公認のものを含めて400近くのサークルが存在するといわれています。ここでは主に大学によって公認されている課外活動団体と一般学生団体の活動を中心に紹介していきます。課外活動団体は、体育会（部会43 団体、同好会14団体）、文化系サークル連合会（42 団体）、芸術系サークル連合会（28団体）によって構成されています。また、これらとは別に約100 の一般学生団体が大学に公認されています。

その活動内容も多岐に渡り、大会で好成績を収めるために日夜一所懸命練習している団体もあれば、楽しむことを目的に和気あいあいと活動を行っている団体もあります。

ここで各団体の詳細な活動内容を記すことはできないので、体育会、文化系サークル連合会、芸術系サークル連合会、及び筑波大学に公認されている一般学生団体一覧のURL を載せておきます。詳しく各団体活動内容を知りたい方は、こちらにアクセスしてみてください。きっとあなたの興味や目的に合うサークルが見つかることでしょう。

体育会

<http://www.sakura.cc.tsukuba.ac.jp/~taikukai/>

文化系サークル連合会

<http://www.stb.tsukuba.ac.jp/~bunsa/>

芸術系サークル連合会

<http://www.stb.tsukuba.ac.jp/~geisa/>

一般学生団体一覧

<http://www.tsukuba.ac.jp/campuslife/pdf/gakuseih.pdf>

（いずれも「筑波大学 ○○○（団体名）」と検索すれば出てきますので、URL を打ち込むのが面倒臭い人はそうしてください。）

キャンパスライフについて

ここではアルバイト情報、自転車や遊びの事情、宿舍やアパートなどの住宅情報、また筑波大学で行われる行事などといった実際の社学生の日常について簡単に紹介していきます。

日常生活

○アルバイト

社学生の多くは何らかのバイトをしています。でも、その実態は毎日のように働き、月20万近く稼いだ人もいれば、週1回程度でほんの小遣い程度しか稼がない人まで様々です。ちなみに筑波大生の代表的なバイトとしては時給が高い家庭教師や塾講師、まかないが出る居酒屋や定食屋が挙げられます。

また、バイトをする目的も様々で社会経験という人もいれば、旅行するため、車を買うため、生活費を稼ぐためなど人それぞれです。しかし、いくら大学生は時間があるとは言え、バイトをしすぎると学生の本分を忘れてしまうこともあるので気をつけてくださいね。

○遊び

筑波大学周辺には、はっきり言って遊ぶ場所が少ないです。カラオケボックスと漫画喫茶は大学周辺に点在していますが、それ以外のレジャー施設はほとんどありません。ただ、その代わりと言ってはあれですが、大半が大学周辺に住んでいるため、終電を気にすることなく、遊べます（そのため、自宅通いの人は、最初は寂しい思いをするかもしれません…）。仲のよいもの同士で時間を気にせず語らえば、時には日常会話では話さないことまで語り合え、相手のことをよりよく知って友情を深められるかもしれませんね。

○自転車について

筑波大学のキャンパスは広大なので、移動はなかなか大変です。そのため筑波大生にとって自転車は必需品です。体育の後など、自転車がなければ休み時間中の移動は困難でしょう。筑波大学では休み時間中に学生が一斉に自転車で移動するため、自転車渋滞という独特な現象が発生します。これは普通の大学では見られない筑波大学ならではの光景だといえます。

住居

○宿舎

つくばエクスプレスの開通により、電車通学者は増えていますが、それでもやはり新入生のほとんどがつくばに移り住み、初めての一人暮らしを体験することになると思います。まずは筑波大の特徴である学生宿舎、さらにはアパートやマンションについての情報を紹介します。

筑波大学の大きな特徴の一つといえるのがこの宿舎です。家賃は外部のアパートよりも安く、月14000円程度で、しかも水道料金は無料、電気料金もかなり低額で済みます。部屋には備え付けの洗面台、事務机、イス、ベッドがついており、広さはだいたい5畳です。風呂、トイレ、洗濯機、台所は共用となります。みなさんは学生宿舎ときくと、管理人さんがいたりして、門限が決まっていたり…、といった感じでいろいろと厳しいのではないかと想像してしまう人もいますが、基本的にはそうした制限はなくいたって自由です。

もちろん、夜間は騒がないなど、最低限のマナーは守らなければいけません（じゃないと近所の人に嫌われますからね）、いわば周りに筑波大生しか住んでいないアパートだと思ってくだされば結構です。このあたりが筑波大の宿舎が学生寮ではなく学生宿舎と呼ばれる所以であります。

家賃が安いというのもひとつ大きな利点ではありますが、初めての一人暮らしを送るにあたって、友達がすぐ近くにいるということは大きな魅力です。簡単に友達同士で集まれるので、すぐに仲良くなれます。一人暮らしを考えているのならばまず、学生宿舎に入ってみませんか。

○アパート・マンション

つくば市内の大学周辺のアパート・マンションの家賃の相場は1Kで月3万～5万円くらいまでとまずまずです。大学の周辺ということもあり、学生向けの物件が山ほどあります。宿舎よりは何かとお金がかかりますが、そのぶん快適に住めるでしょう。

イベント

筑波大学にはたくさんのイベントがあり、どれも素晴らしい盛り上がりを見せています。

これらのイベントに積極的に参加することが、大学生活をより充実させ、思い出深いものにする鍵となるでしょう。

○宿舎祭（通称やどかり祭）

宿舎に住んでいる一年生がメインとなって行われるイベントですが、宿舎に住んでいない上級生や地域住民の方々も来場するので、とても盛り上がります。当日はたくさんの模擬店が立ち並び、ライブステージなど様々な企画が行われます。中でも神輿パフォーマンスと浴衣コンテストは、やどかり祭のメインイベントとして特に大きな盛り上がりを見せます。一年生にとっては、学類全体で団結して準備や作業を行う最初のイベントであり、友達を増やしたり仲を深めたりする絶好の機会となるでしょう。詳しくは下記URL参照。

筑波大学宿舎祭実行委員会

<http://www.stb.tsukuba.ac.jp/~yadokari/>

○スポーツ・デー

学生と教職員にスポーツ活動の機会を与えることによって、健康で明朗な大学生活の充実と学内スポーツ活動の振興をはかることを目的としています。春と秋にそれぞれ行われ、春にはソフトボールやバレーボール、ドッジボールなど、秋には駅伝、キックベース、サッカーなどが行われます。学類やサークルの友達とチームを組んでぜひ参加しましょう。体育センター長や事務の職員方と真剣にスポーツをやれる機会はそうないはずです。詳しくは下記URL参照。

スポーツ・デー学生委員会

<http://www.stb.tsukuba.ac.jp/~sd>

○雙峰祭

筑波大学の広大なキャンパスをつかって行われる学園祭で、筑波大学最大のイベントです。300を超える模擬店がいたるところで開かれ、サークルも展示会やライブなどで日頃の成果を発表します。また研究室などによる研究成果の発表などの学術的企画も多数行われます。これら以外にも社会学類が主催する松美記念（第一エリア手前にある松美池を舞台に行われる人間競馬）など楽しい企画が盛りだくさんです。詳しくは下記URL参照。

学園祭実行委員会

<https://www.sohosai.com/>

資格について

大学に入学したら何か資格を取りたいと考えている人は少なくないと思います。しかし残念ながら、筑波大学では資格を取るための授業は開設しておらず、ダブルスクール（資格試験のために予備校に通うこと）のための予備校も近くには少なく、充実した環境とは言えません……（最近は少しずつ充実してきていますが）。そこで大切なのは意志の強さです！！強い志を保って資格を取得した先輩はたくさんいます。ここでは主な資格について見ていきましょう。

司法試験→法曹界へ！

法律を学ぶ者が一度は憧れるのが法曹界——裁判官、検事、弁護士ですね。その前に超えなければならない関門が司法試験。原則として、法科大学院を卒業した人に受験資格が与えられます。従って、法曹を目指す人は、大学を卒業後、さらに法科大学院へ進む必要があります。

教員免許→教育現場へ！

筑波大学では通常のカリキュラムとは別に、教員免許を取得するための教職課程が設けられています。卒業に必要な単位以外にも多くの単位を取らなければならないため、負担は軽くはありません。1年生の時から十分な履修計画を練る必要もあります。

社会学類では基本的に高校教諭一種「公民」の免許を取ることができます。これだけでなく、更に多くの単位を取得しなければならず大変ですが、取ろうと思えば英語や地理歴史、国語など他の科目の免許も取ることができます。

その他

国家Ⅰ種などの公務員試験を視野に入れている人は多いと思います。最近筑波大学では予備校の講師を招いて対策講座が開講されるようになったので、徐々に環境は充実してきています。また、参考書や通信講座を利用したり、ダブルスクールをするために東京へ通ったりしている人もいます。その他の資格として、裁判所職員や家裁調査官、行政書士を目指す人もいます。

教員免許の他にも、大学で一定の単位を取得すれば得られる資格があります。教育委員会の事務局におかれる社会教育主事、博物館の資料に関する学芸員、司書、司書教諭などです。大学入学後、どの資格を獲得するかはみなさん次第です！将来へのステップアップのために、広い視野と強い志を保って自分を磨きましょう。

入学準備虎の巻

其の壺：募集要項の取り寄せかた

① テレメールを利用。

請求方法は、電話とホームページとがあります（詳細はホームページを参照のこと）。出願締め切りの直前には受付が終わってしまうので注意。

② 郵便局で請求（10月から案内開始）

郵便局に設置されている「国公立大学・短期大学及び通信教育課程・大学校募集要項（願書）請求申込書」に必要な事項を記入の上、郵便局窓口で申込みます。受付から1週間程度で送付されます。請求申込書は高校で入手できる場合もあります。

③ 大学のアドミッションセンター窓口へ直接取りに行く。出願ギリギリになってしまったらこうするしかありません。あくまで最終手段です…受付時間にも注意。

<①②の請求方法についての問合せ先：テレメールカスタマーセンター050-8601-0102>

其の貳：出願

詳しくは募集要項を参照してください。しかし注意してほしいのが検定料。出願に際しては、入学志願票や調査書など多くの書類とともに、検定料として17000円を払い込みのうえ、日付印が押されている振替払込受付証明書または検定料収納証明書を入学志願票に貼り付けて同封しなければなりません！ 決して現金を入れて送らないこと！

其の参：ホテルの予約

遠方から来る人は大学近くのホテルに泊まることになるでしょう。しかしホテルの予約に苦労した、もしくは近くのホテルが取れなかったという受験生が毎年多くいます。ホテルによって異なりますが、前期・後期ともに9月・10月にかけて予約が始まり、半日から1日ほどで埋まってしまうこともあります。個人で予約する場合には前もって詳細をホテルに直接確認し、予約開始と同時に電話をかけて早めに部屋を確保してしまいましょう。

また、つくばエクスプレスによって、東京・埼玉・千葉などに住んでいる人は当日の朝に自宅から来ることもできるようになりました。この場合は所要時間を事前にきちんと調べ、余裕を持って到着できるようにしましょう。

補足

- ・試験当日はつくばセンターから筑波大学行き臨時直通バスが出ます。
- ・筑波大学はとにかく広いです。道に迷わないよう、前日に下見をしておくといいかも。
- ・つくばは予想以上に寒いです。防寒具やカイロなどの準備は必須ですが、試験会場内は少し暑いくらいだということもあり得るので、調節のできる服装をお勧めします。

編集後記

皆さんこんにちは。社会学類2年生のイクバルと申します。この度大学説明会の冊子を担当させて頂きました。昨年の責任者が実は高校の先輩で、大学説明会が終わった後に「来年責任者やってくれ!」と言われたのをきっかけに、気がつけばここまで来てしまいました笑 この冊子はオンラインで課題に追われた社学生に対して善意という言葉を巧みに用いて執筆してもらった、いわゆる善意の結晶体となっています。ここに名前のある学生がレポートを書いている姿を想像して頂ければ幸いです。例年なら学生による相談会があるのですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため今年度は実施できませんでした。これを読んでいるであろう皆さんにお会いしたかったのですが、叶わぬもので残念な限りです。せっかく読んで頂き、大学説明会に参加頂いているということは何かしら興味があるのかな、あると嬉しいな、ということで、少し大学生活のことについて話したいなと思います。あくまで個人の見解なので、「信じるか信じないかは、あなた次第です。」ということをお願いします。

例年筑波大生は何をしているかというと、大多数はつくば近辺に住み、そこで生計を立てます。自宅から通っている子も一定数います。朝早くに起き1限の授業を受け、6限まで頑張るきり、それが終わればサークルや部活動へ駆け出します。サークルがなければ寮なりアパートなりに帰り、自宅から通っている子は競輪選手の如く自転車でつくば駅へ向かいます。そして自由を勝ち得た彼らは、修学旅行のテンションへと生まれ変わります。大抵近くに住んでいるので、一緒にご飯を食べたり、宿舍の共用スペースで課題やゲームを一緒にやったりします。つくば住みの子のお家でお好み焼きパーティーなんかもしました。今思うと懐かしい……。

こんな毎日同じ生活を繰り返していたかということそういう訳ではありません。4月には学類新歓があり、5月には宿舍祭、11月には雙峰祭といった祭で出し物を出したり、5月と11月にスポーツデーで運動したりと、イベントがたくさんあります。サークルでのイベントも当然あるので、ワントーンな生活にはならないですね。ちなみに昨年は餃子とすずカステラを、雙峰祭では揚げ鯛焼きを売りましたが、噂によると全部売り尽くし、新歓のために、とぬくぬくポカポカに温めているらしいです。信じるか信じないかは、あなた次第です。

ここまで学校の様子についてだらだらと書きましたが、一番言いたいのは、みんなそれぞれ輝いている、ということです。友達とわーい!!!とやっているあの子ども、家でインドア生活しているあの子ども、一人で散歩するのが好きなあの子ども、みんな大学でやりたいことがあって入学し、それを今でも追いかけています。そりゃ人間ですから、夏休みが恋しいですし、楽に生きてみたいです。それでもみんなやりたいことや夢、将来に向かって頑張っています。これが筑波大生の1番の魅力なのではないかな、と個人的に思っています。自分も頑張らなきゃな、と、前向きにさせてくれる学生が社学にはたくさんいます。筆者も2年前の大学説明会で、こんな先輩になりたいな、と思ったのがここを志望校に決めた1番の理由です。書いている本人が、誰かを前向きにさせる大学生になれているのか不安ですが、このパンフレットの合格体験記や社学生の声を読んで、勉強頑張ろう、大学生になりたいな、そう少しでも前向きになってもらえたら嬉しいです。そして今度はこれを読んでいる皆さんが、誰かを前向きにさせてあげられたらいいなと思います。これから先、どの道に進んだとしても、皆さんが誰かの憧れの先輩でいてくれることを願っています。大変な情勢ではありますが、皆さんとお会いできる日を心待ちにしております。

ありがとうございました。

筑波大学社会学類 イクバル ムミト